

令和2年度第1回 滝川市環境市民委員会の開催結果について

開催日時	令和2年7月28日（火） 午後1時30分～午後2時10分
開催場所	滝川市役所3階 301会議室
出席状況	【委員】 出席：高瀬委員、栗井委員、岡崎委員、溝渕委員 欠席：石川委員、石谷委員、高橋委員 【事務局】 市民生活部くらし支援課 山内課長、近藤課長補佐、本所係長
議事内容	1 委嘱状の交付 2 開会 3 委員長等の選出 自薦・他薦を願ったがいずれもなかったことから、事務局として、委員長に高瀬副委員長、副委員長に栗井委員を推薦する提案し、出席委員全員の賛成を得たことから、選出された。 4 年次報告書の作成及び公表について 令和元年度の年次報告書の素案について、事務局から説明を行った。 各委員からの意見等は次のとおり。 【省エネモニター、自然保護活動関係】 委 員）：エコネット登録団体の自然保護活動参加人数が大幅に増えた要因は何か？ 省エネモニターの実施世帯数が減少しているとのことだが、対策は検討しているか？ 事務局）：自然保護活動参加人数が大幅に増えた要因はNPO 法人まち・川づくりサポートセンターの体験者数の増加によるところが多い。 省エネモニターについては、広報等で募集しているが申し込みが無い状況。消費者協会等へ声掛けして50世帯程依頼したが、17世帯しか回収できなかった。その中で一昨年から継続しているのは9世帯に留まる。 モニター数が少ないので、各家庭での取り組みによってはCO2排出量の結果に影響を受けやすい。 このようなことから、今後は省エネモニターの実施は難しいと考えている。良い方策を検討したい。 委 員）：R3年度に向けて、省エネモニターに替わる具体的な対応を検討しているのか？ 事務局）：新たな方策についてはまだ検討していない。 委 員）：WET プログラムの参加人数から、今年度も同様な参加人数が期待できるとすれば目標値も容易にクリアできるのではないか？

事務局)：今年度は新型コロナウイルスの影響が大きく、昨年度と同じような成果にならない可能性が高い。

委員)：今年度は参加者も多くは望めないのであれば、目標値を見直す検討をしても良いと思う。

委員)：CO2排出量の考えや、目標値、指標の設定への考え方は、他にもやり方があると思うので、適した方法を検討しても良いと思う。

委員)：他市町で、ゼロカーボンシティの取り組みを進めている所もある。先進事例から、滝川市でも次期指標の決め方に繋がるものもあると思われる。

【環境学習関係】

委員)：環境学習については、一部の学校での開催に止まっているが、広げようとする取り組みは検討されるのか？

事務局)：環境学習は國學院の学生が授業の一環として、小学校で行っていたが、カリキュラムの変更により今年度より実施出来なくなった。

滝川高校の生徒については、引き続き環境学習を進めたいと打合せているが、今年度は新型コロナウイルスの影響で、予定通りに環境学習の実施可能かどうかについては、来月、滝川高校と打合せを行う予定。

委員)：新型コロナウイルスが終息してくれば良いのだが、見通しが立たない。浅くてもいいので、多くの小中学校で環境学習の取り組みが広がって欲しいと思う。

委員)：掲げた目標の数値を確保しなければならない、という訳ではないと考える。新型コロナウイルス事態下でも出来ることを探せばあると思われる。この場でどういったことが出来るのかをアドバイス出来ないが、今後協力できることはあると思われるので協力したい。

事務局)：昨年度、國學院の学生が実施した内容について、今年度は滝川高校の生徒により実施可能か検討している。

【ごみ関係】

委員)：ごみの埋立量が大幅に減少している要因は？

事務局)：災害ゴミ等が要因と考えられる。

委員)：新型コロナウイルス下で自粛もあり、家庭ごみ量も増えているので、こうした影響下でのごみ搬出の特徴について、データの集約できれば今後の参考になると思う。

5 その他

(1) リサイクルフェア及びそらち WaiWai フェスタの中止について

(2) 令和元年度滝川市環境市民大会について

(4) 次回開催日程について

6 閉会

